みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

更科源蔵氏『コタン探訪帳』の概要について：弟子屈町立図書館所蔵資料の紹介

メタデータ	言語: ja 出版者: 公開日: 2015-03-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 齋藤, 玲子 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/5608

北海道立北方民族博物館研究紀要　第11号（2002.3）

更科源蔵氏『コタン探訪帳』の概要について
－弟子屈町立図書館所蔵資料の紹介－

齋　藤　玲　子*

The Outline of SARASHINA Genzo's Notes Described Ainu Culture

Reiko SAITO

This article is an introduction of the *"Kotan Tanpo-cho:* (Note on a visit of Ainu colony/hamlet)" written by SARASHINA Genzo between 1950-75. Presently these notes are in Teshikaga Municipal Library which is Sarashina's birthplace.

Mr. Sarashina (1904～85) was a representative poet or author, who left many books about Ainu culture and history of Hokkaido. He interviewed many Ainu elders on their traditional culture and legends in order to record histories of municipality and traditional music in various places of Hokkaido. However he is not highly known as an ethnographer.

Comments on Sarashina's works and notes are given at the beginning of the article, followed by the contents of nineteen notes and one diary.

Although the informants, places and dates of these descriptions are known, the value of these notes is not well recognized. By looking over these notes, a better opinion should be made on his work.

* 北海道立北方民族博物館学芸員（Hokkaido Museum of Northern Peoples）

キーワード　更科源蔵、コタン探訪帳、アイヌ民族誌、アイヌ伝統音楽、弟子屈町立図書館

Key Words　SARASHINA Genzo, "Kotan Tanpo-cho: (Note on a visit of Ainu colony/hamlet)", Ethnography of Ainu, Ainu Traditional Music, Teshikaga Municipal Library

1．はじめに

本稿は、弟子屈町立図書館に所蔵されている故・更科源蔵氏（1904～85／以下、敬称略）の記した『コタン探訪帳』（19冊：以下「探訪帳」と略す）ならびに『コタン探訪日記』（1冊）の概要を紹介するものである。探訪帳はアイヌ文化に関する昭和20～40年代のまとまった調査記録であり、被調査者（インフォーマント）等のデータが明らかな点で貴重であるにもかかわらず、その存在は一般には知られていない。ここでは、探訪帳に記された調査の概要と目次を掲げて内容を示すことにより、同時代のアイヌ文化伝承の状況や加工されていない生のデータ（聞き書き）を知るとともに、更科の著作の再評価とアイヌ文化研究への活用を目的とする。

更科源蔵は北海道を代表する文筆家であり、詩人と名乗りながらも、文学作品のほかに北海道の歴史やアイヌ文化に関する多くの著作を残した。昭和20年代から市町村史の編著を手掛け、30年代後半にはNHKの「アイヌ伝統音楽」収集整備専門委員として現地調査ならびに民俗（ママ）学的解説（出版物としては（日本放送協会編 1965））を担当し、同じくNHK制作の映画『ユーカラの世界』（Ⅰ～Ⅲ部：昭和39～40年に教育テレビで放映）の監修・構成の仕事を請け負った（実際にはコーディネーター役もこなしていたと考えられる）。これらの仕事を通して、各地でアイヌ古老からの生活誌の聞き取り、説話・歌謡の採録、写真の撮影等を行った。

更科の業績についてはいくつかまとめられたものがあるが、多くは詩人としての彼を顕彰する内容や、交友を回顧するものである。また、晩年の肖像権裁判の一件からアイヌ文化研究者として顧みられることはあまりなかった。

「探訪帳」は約350人にも及ぶ[1]古老らアイヌ文化継承者からの聞き取りの記録であり、インフォーマントと場所、年代などのデータがはっきりしたものである。昭和20年代から40年代にかけてのまとまった聞き取り記録は他に例を見ず、個別具体的なアイヌ文化の伝承者からの最後の記載と評価できる内容を持っている。更科はこの記録をもとに多くの著作を残したが、後年には地域や年代の限定を外して類型化して利用したケースも多く、コタン探訪帳が持つ資料価値はいまだに一部の理解に留まっている。

更科のアイヌ文化に関する著作は著作集としてまとめられているものの、単行本のほとんどは廃刊となり現在流通していない。更科が没して15年が過ぎ去った今、彼の著作の原点となったと考えられるコタン探訪帳を見直すことで、彼の仕事の再評価をすべきであると考える。

2．更科のプロフィール

まず、更科のライフヒストリーを簡単に記すが、詳細については、『更科源蔵文学碑建

立記念誌　原野歴程』（渡辺 1977）、「原野詩人＜更科源蔵＞」（北海道新聞 1985：8-30）『原野彷徨　更科源蔵書誌』（小野寺 1990）、『原野の中の更科源蔵』（森川 1994）、「更科源蔵をたどる旅」（齋藤・宇仁 2001）を参照されたい。

更科源蔵は開拓二世として1904（明治37）年に弟子屈村熊牛原野（現在の弟子屈町南弟子屈）で生まれ、周囲にアイヌの多い環境のもとで育った。麻布獣医学校に進学のため17歳で上京するが、動物の解剖が「いやだった」こともあり、喀血したことをきっかけに退学、帰郷する。このころから詩作活動を始める。

昭和４（1929）年に地元弟子屈町の昭栄小学校の、翌５～６年には屈斜路湖畔コタンの屈斜路尋常小学校の代用教員となる。このとき、アイヌの古老から動植物に関する知識などを得て、大学研究者の調査に協力するようになった。

アナーキストとして教職を追われた後、印刷業、農業などをしたが、昭和15年に札幌へ出る。そして、高倉新一郎ら北海道大学教授のすすめで北海道大学学生課事務、20年代半ばから道立図書館やNHKなどの嘱託、市町村史の編纂委員などを務めながら、アイヌ文化に関する調査研究活動を精力的に行った。

昭和26年第３回北海道文化賞学術部門賞、昭和42年に第18回NHK放送文化賞を受賞。同年北海道文学館理事長就任（63歳）、43年北海道新聞文化賞社会文化部門賞受賞、同年北海学園大学アイヌ学講座教授就任。昭和40年代の更科は、押しも押されもせぬ「北海道の顔」となっていた。

しかし、昭和60年５月にアイヌの女性から肖像権侵害で訴訟を起こされ、その４ヶ月後の９月25日、被告のまま裁判中に没した。以後、マスメディアはあまり彼を取り上げなくなり、現在もアイヌ文化研究者として挙げられることは少ないままである。

３．コタン探訪帳のあらまし

コタン探訪帳は昭和25年10月から始まり、45年３月に最後の記載がある。殆どは更科自身が聞き取ったものであり、一部に他の研究者などから得た情報もある。更科は昭和24年に地元弟子屈町史を編纂、25年に斜里町と琴似町（現札幌市）の町史編纂の依頼を受けており、以後、多数の市町村史を手がけている。市町村史の仕事を契機に河野広道・知里真志保・永田栄らとともに各地でアイヌ文化の調査を行い、その後も先述のようにNHKの嘱託などの仕事で現地調査を続けた。更科はインタビューのなかで『コタン生物記』（初版は昭和17年だが、51，52年にご子息・光（こう）氏との共著で３部作として大幅に加筆改定）に関して、「私のは、ほかのアイヌ研究の人と違って、人間的というか文学的なとらえかたをしましたから、科学的でも学問的でもないんです。だから甘いことは甘い。そういう違いはあります。ただ、しかし、いまのうちに正しく調べておけば、だれかがやっ

てくれるだろうと思いまして、それで資料集めに専念してきたんですよ。」と話しており（上田 1977）、探訪帳に調査記録を残してきた理由を示唆している。

年代と調査地の概略は表①に示したとおりで、49市町村に及ぶ。古老を訪ねて自宅等で話を聞くことが多かったようであるが、儀式のために他の地域から集まってきた人に話を聞くこともあった。例えば、26年１月には常呂町で熊送り、28年６月には静内で29年９月には標茶町塘路でベカンベ祭、29年３月下旬から４月にかけては弟子屈町屈斜路コタンで熊送りが行われ、数日にわたり多くの人から聞き取りを行っている。また、昭和36～37年は「アイヌ伝統音楽」収録のための調査を行っており、この時期の探訪帳（No.14～18）は、歌詞とその訳に多くの頁が割かれている。公民館やスタジオなどに数人～十数人が集まり歌や踊りが演じられており、併せて生活誌の聞き取りが行われることもあった。

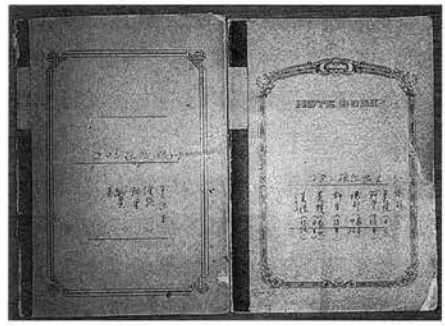


写真1『探訪帳』１，２巻の表紙

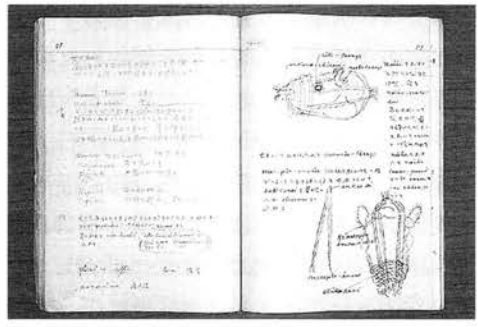


写真2 記載の一例。『探訪帳』２巻58，59頁

探訪帳に記載された文字は比較的読みやすく内容もまとまっており、聞き取ったその場で書いたような走り書きもあるが、後から清書したものもあるように思われる。更科は著書のなかで、「私は昭和五年の春屈斜路湖畔の、部落（コタン）の学校の教壇に立ってからの三年間くらいと、戦後昭和二十五年ごろからの十余年間、北海道内に散在する、いわゆる土人保護地といわれた部落（コタン）に、いくどか古老たちを訪れて、アイヌ文化調査を続けてきたが、その間のフィールドノートが二十冊ほどの再訪記録になった」（更科 1970）と述べている。この文面からは「探訪帳」がフィールドノートであるようにも、まとめ直したようにも受け取れる。なかには、光氏との共著『コタン生物記』を書くときの資料にしたものか、赤い㊗のスタンプが各所に押されているものもあり、整理されたものという印象を受けるノートもある[2)]。

探訪帳の内容は、以下の表②において調査日・調査地・インフォーマント（イニシャル）・インフォーマントの性別・聞き取りの内容・備考をノートの番号・頁順に示す。調査地はインフォーマントの出身地とほぼ一致するが、前述のように祭などに集まった際に調査をしたものや、一部転居・結婚等により調査地（現住所）と出身地が異なる場合もある。特にサハリン出身者についてはできる限り、調査地のあとに（　）書きで（樺太）と

表①「コタン探訪帳」の年月日と調査地（現在の市町村名に統一した）

巻	調査年月	主な調査地
1	25.10-25.11	美幌・斜里・標茶・美深(名寄)[3]
2	25.11-26.3	美深(名寄)・美幌・斜里・穂別・平取
3	26.3-26.4	穂別・旭川・美幌
4	26.4-26.6	美幌・本別・斜里・標茶・足寄・標津・千歳・恵庭
5	26.6-26.7	千歳・様似・静内・三石
6	26.8-27.6	池田・本別・足寄・阿寒・弟子屈・美幌・斜里・石狩・旭川・名寄
7	27.6-28.2	名寄・阿寒・静内・新冠・旭川・名寄・鵡川・穂別
8	28.5-28.9	標茶・釧路・弟子屈・遠軽・静内・新冠・鵡川・本別・音更・名寄
9	28.11-29.10	名寄・室蘭・鶴居・新十津川・弟子屈・旭川・標茶・釧路・阿寒・白糠・美幌
10	30.3-31.3	美幌・弟子屈・本別・鶴居・旭川・静内・標茶・千歳・阿寒・八雲・長万部・虻田・豊浦・新十津川・鵡川・白老・登別
11	31.4-34.8	阿寒・帯広・静内・旭川・新十津川・平取・様似・虻田・広尾・紋別・余市・名寄・鶴居・常呂・佐呂間・芽室・清水・白老・枝幸・豊頃・鵡川
12	34.8-36.4	平取・静内・三石・門別・新冠・浜益・紋別・稚内・余市・虻田・美幌・鶴居・本別・芽室・長万部・常呂？
13	36.5-36.12	鶴居・白糠・芽室・稚内・鵡川・旭川・虻田・穂別・門別・平取・阿寒・標茶
14	37.1	静内
15	37.2-37.7	帯広・平取・静内・虻田・白老・登別・鵡川
16	37.6-37.7	新冠・門別・平取・網走(樺太)・常呂(樺太)・美幌
17	37.8-37.11	浦河・様似・新冠・三石・常呂(樺太)・白糠・芽室・帯広・音更・斜里(樺太)・弟子屈・厚岸・浦幌・平取・虻田・静内
18	37.11-39.2	浦河・三石・旭川・新十津川・千歳・芽室・白糠・阿寒・平取・虻田・白老・登別・常呂(樺太)・鵡川
19	40.9-45.3	虻田・千歳・平取・鶴居・旭川・白老

表した。不明な箇所もあるが、氏名と出身地については、関連する文献などからわかる限り補足してある。

インフォーマントの氏名については、既に『アイヌ伝統音楽』に319名が挙げられており、アイヌ文化伝承者として名を知られた人も少なくないが、本人や親族の承諾を得ていないことから、ここではイニシャルで表すことにした（姓・名の順）。音か訓かなど読み方がわからないものや、日本名とアイヌ名が混じっているなど、間違いもあると思われるがご了承いただきたい。敬称は略した。性別についても、名前から判断したが、間違いがあるかもしれない。

内容は、更科自身がつけた見出しのあるものはそのまま利用し、ないものは筆者がノートを読んで見出しをつけた。動植物名の表記がカタカナ・漢字まじりであることや、「酋長」など現在では不適切な表現、「住居」「住宅」「家屋」など用語が統一されていない部分も多いが、概要を報告することが目的であることから、そのまま使用することをお許し願いたい。また１，２行程度のメモ書きも多く、すべての項目を拾いきれていないので、ここに挙げられているよりも多くの内容を含んでいることを記しておく。

備考欄の「河野ノート」とは、『河野広道ノート　民族誌篇１　－イオマンテ・イナウ篇－』（青柳 1982）であり、河野は10件の談話を「更科ノート」から写しており、同行した調査もあるので、日付やインフォーマントの氏名を確認するために照らし合わせてみたが、若干の相違があったためそれらについて記した。また、河野の調査の足跡については別途まとめられたものがあり（藤村 1984）、ここからも関連する情報を付記した。

このほか、紙幅の関係から省略しているが、ノートにはインフォーマントのアイヌ名、生年月日、生地、聞き取りの場所（公民館・NHKスタジオ・○○宅など具体的な場）、付随資料（写真・メモなど）も含まれている。

また、更科は絵のセンスもありスケッチもうまく、ところどころに付された図は情報をよりわかりやすく的確に伝えている。

『探訪日記』は昭和26年５～９月に訪れた、ところどころのコタンにおける雑記風のものであるが、同行者やインフォーマントに関する情報も多い。内容は「古老を訪ねて」（更科 1970）に掲載されている。参考のため、付け加えておいた。

これらのデータは、データベース（Filemakerを使用）としてパソコンに入力済みであり、地域やインフォーマント、内容のキーワードなどで検索が可能である。脱稿後は弟子屈町立図書館にも渡す予定であるので、詳細について知りたい方は筆者に連絡されるか、直接図書館に照会されたい。

４．まとめ

以上を概括すると、主な聞き取り項目は次のようなものであったと考えられる。

- 地名や土地にまつわる伝説など
- 動植物のアイヌ語名とその利用方法
- 狩猟（毒・罠）
- 漁撈（特にサケについて）
- 儀礼（特に熊送り、祖先祭、葬儀）
- 儀礼具（イナウ、イトッパ等）
- 住居構造
- 衣類
- 食事、料理
- 気象、天体、方位
- 病気
- 出産、育児
- 化け物（ミンヅチ：河童伝説）
- 親族呼称　（ほか順不同）

これらの項目を用意しておき、すべてにわたり詳しい者にはひととおり話を聞き、インフォーマントによっては質問を変え、よく知っていて多くの内容をもつ分野ではさらに踏み込んで調査を行ったものと考えられる。項目は多岐にわたるが、当時の研究者たちの関心領域や更科の関心事を反映してか、動物・植物の利用、サケ漁、熊送り、葬儀に割かれた頁が多い。また、地名解についても最初に行う質問であった。

36年以降の「アイヌ伝統音楽」収録に際しては、歌や踊りのほかに、伝説やさまざまな場面での呪文なども聞き取っている。この時期のインフォーマントは圧倒的に女性が多く、出産や育児、病気などに関する聞き取りも多くなっている。

更科の著作は、論文として執筆したものでなく、いわゆる「読み物」として書かれたものが大半であるため、その出典を明らかにしていない場合が少なくない。特に昭和20～30年代のものよりも、後年（40年代以降）著されたものにその傾向がみられる（齋藤・宇仁2001）。そのため、個別具体の例なのか、アイヌ文化に一般的にみられるものなのか明らかでないものもあったが、「探訪帳」を利用することにより、「読み物」として認識されていた著作に民族誌としての価値付けが可能になると考える。もちろん、「探訪帳」のなかには、更科の著作に取り上げられてはいても詳細にまでは及んでいないものも多く含まれ、新しい知見を得ることができる可能性は大いにある。

終わりに

ここ数年ではあるが、更科の著作やノート類を数多く見てきて、彼の残したものの膨大

さに改めて気づかされた。特にアイヌ文化に関する資料は、まだ検討される余地があるものと信ずる。状況が許されれば、更科の所蔵していた写真についてもその全容を調べてみたいと考えている。

弟子屈町立図書館では、2001年秋から更科源蔵氏旧蔵資料の本格的な整理作業が始まっている。更科を研究する者にとっていっそう利用しやすくなるとともに、彼の残したものが再度多くの人の目に触れるようになることを願い、この小文をしたためた次第である。

謝辞

執筆にあたり、弟子屈町立図書館の方々、特に山口武司館長・柿崎幸一郎係長には大変お世話になった。また、本稿は旅の文化研究所第7回公募プロジェクトのために行った調査の成果を一部利用している。関係者各位には、記して感謝申し上げたい。

注

1)（齋藤・宇仁 2001）では聞き取り者の数を270人としたが、伝統音楽の演者も含めると350人を超す。

2) 弟子屈町立図書館には、野帳は1冊のみ収蔵されている。また、動物と地名に関する事項が書かれたカードもそれぞれ収蔵されており、『コタン生物記』執筆にはこのカードも用いられたと考えられる。

3)「探訪帳」の目次に「美深（名寄）」となっていたためそのまま記したが、インフォーマントのK.Iは名寄の出身で、探訪帳の１，２以外は「名寄」になっている（佐藤 1985)。

4) スルクとは矢毒として用いるトリカブト毒のことである。

5) ウポポ：歌、イフンケ・イヨンノッカ：子守唄などは統一されていないが、ノートの見出しをそのまま使用している。

参考文献

青柳信克編

1982 『河野広道ノート　民族誌篇１　－イオマンテ・イナウ篇－』 北海道出版企画センター：札幌

上田満男

1977 「更科源蔵」『わたしの北海道　-アイヌ・開拓史』 すずさわ書店：東京

小野寺克己編

1990 『原野彷徨　更科源蔵書誌』（私家版・発売元サッポロ堂書店）：札幌

齋藤玲子・宇仁義和

2001　「更科源蔵をたどる旅　－北海道観光における類型化されたアイヌ文化の探求－」『旅の文化研究所　研究報告』第10号　pp.1-14　旅の文化研究所：東京

佐藤幸夫

1985　『北風磯吉資料集』（名寄叢書第６巻）　市立名寄図書館：名寄

更科源蔵（編）

1955　『熊祭　IOMANTE』（北方文化写真シリーズ１）　楡書房：札幌

1970　「古老を訪ねて」『アイヌと日本人　伝承による交渉史』pp.175-244　日本放送出版協会：東京

日本放送協会

1965　『アイヌ伝統音楽』　日本放送出版協会：東京

藤村久和

1984　「河野広道先生のアイヌ文化調査の足跡」『河野広道博士没後二十年記念論文集』pp.33-42　北海道出版企画センター：札幌

北海道新聞社

1985　「原野詩人　更科源蔵」『私のなかの歴史　４』　北海道新聞社：札幌

森川勇作

1994　『原野のなかの更科源蔵』　札幌・弟子屈会：札幌

米村喜男衛

1952　『BEAR FESTIVAL　熊まつり』（網走市立博物館叢書第３号）　網走市立博物館：網走

渡辺茂

1977　『原野歴程　更科源蔵・人と作品』　更科源蔵文学碑建立期成会：札幌

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
1	1		美幌	K. K	女	温泉、風邪薬、樹皮、熊祭り	
1	2	25.10.15	美幌	K. G	男	地名由来、魚、鳥、星、月、数、風	
1	8	25.10.16	美幌	K. G	男	狩猟動物、履物、ニプ（とったサケを入れるために作った小屋）、樹木、病気・薬、毛皮の売買、住居、葬儀、雨乞い、地形、魚名、鳥、虫、罠、生活用具、漆器、川漁、	H. T のところで馬夫をしていた
1	36	25.10.18	斜里町東朱円	S. S	男	イノミ、コタン、葬式、海獣猟、魚料理、オヒョウ釣り、魚料理、漁法、遭難、食、衣料、狩猟（アマッポ、猟小屋）、信仰、熊狩り・送り、狩占い、服装、糸、布団、雨具、ケリ、道具、漁場、硫黄山、物交、薬、食草、風、船（図解）、藤野時代のアイヌ、御祭場？	
1	49	25.10.20	標茶町塘路	F.		近隣地域の説話、沼貝の殻、標茶の分監、トーロアイヌの名はM. Z がつけた	
1	49	26.3.11		O. M	男	朴とオンコは木の神様であるとSが言った。ヌサは元村とオンネムシ、二又にあった	朱書；調査日を考えると、後から書き加えたものか？
1	50	25.10.20	塘路村パルマイ	I. M	女	親族名、出産、アザラシ送り、薬、葬儀・クワ（図）、キノコ、魚名動物名	pp.52W.　K　白糠か浦幌 pp.54後藤のパパシュスラ pp.56シッポシュシ春採墓のところ
1	57		塘路	F		アツシ　田沢戸長　松井家　毛皮売買	色鉛筆書き（青赤）
1	58	25.10.21		知里真志保		アイヌ語　「よい」「岩」「棍棒」数ほか	習ったものか
1	60					落書き	更科の字ではなさそう
1	61					文献リスト　蝦夷地境目取調ほか江戸～昭和初期までの文書などとその所在	
1	66	25.11.14-17	美深(名寄)	K. I	男	河獺、熊、鮭、星、植物、熊の内臓、食物、住居、動物、方位、風、植物名、鳥、クワ、植物利用、禁忌、皮なめし、衣類、毒	
2	1	25.11.14-17	美深(名寄)	K. I	男	スルクの効き目、彫り、衣、雪、身体名称、鮭漁（図解付き）、熊送り、植物利用（7頁分）、化物（ミンドチほか）、出産、木の部位、動物名、鳥、蛇、昆虫	Ｉの続きと思われる
2	33	25.11.16	美深(名寄)	K. I	男	pp32土地利用書類、鮭料理、熊送り、葬式、pp42「美深町内のichanはいくつあるか」、陰部の名称、熊の解体（pp.44～53）、熊送り	
2	65	26.1.13	美幌	K. G	男	熊送り	聞き取りが行われた場所は常呂町。日付は前後しているが、K. G氏を司祭に行われた熊送りの場での調査。儀式は三日にわたったと記されている（米村1952）河野同行
2	68	26.1.12	美幌	T. K	女	コタン	聞き取りの場所は常呂町
2	69	26.1.15	美幌	K. Y	女	熊送り、出産	聞き取りの場所は常呂町
2	74	26.1.18	斜里	S. S	男	アザラシ狩、シャチ狩、信仰、祖先祭、熊送り、風、漁と天候、魚名、料理	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
2	80	26.2.10	穂別	M. E / K. T		カムイ、鵡川の地名由来、山猟、かんじき、スルク、鮭漁、葬式、矢、鳥、植物	河野ノートでは被調査者のアイヌ語名が異なる
2	93	26.2.16	平取	H.		カムイ、鹿・魚料理	
2	94	26.2.21	斜里	S. S	男	アザラシ、トド、ラッコ、占い、毒矢、植物（コウライテンナンショウ）、鳥、川漁	
2	97	26.2.25	美幌	K. Y	女	キナの種類、染色、鳥、気象と漁、温泉、川漁（ウライ・テシ・ラオマップのかけかた、付図）、気象、出産	
2	111	26.3.14	穂別	T. K	男	地名由来　気象	河野同行
2	114	26.3.15	穂別	M. T / O. S	男女	出産、入れ墨、植物利用	
2	118	26.3.16	穂別	M. T / O. S / O. P	男女	伝説、スルク	pp.120穂別アイヌ考
3	1	26.3.17	穂別	M. T？	男	植物単語帖、星・星座、方位、風など、伝説	
3	23	26.4.15	旭川	K. M / M. N	男女	地名由来、伝説	
3	29	26.4.15	旭川	K. K	男	漁（ヤシ）、日蝕、地震	
3	30	26.4.16	美幌	K. K / K. Y	女	ウポポ、ユカラ、漁、イナウ	ほとんどがアルファベット表記によるアイヌ語歌詞の記録
4	1	26.4.	美幌	K. K / K. Y	女	ユカラ	No. 3の続き
4	5		本別			餅つき唄	永田栄輔
4	8	26.4.18	東朱円（斜里）	S. S	男	アザラシ猟、銛（図解）、マレク（図解）、天候、墓標、住宅、葬儀、藤野番屋、斜里アイヌ、薬、	
4	14	26.4.18	斜里東朱円	S. S	男	シャチ信仰、ヌサ、船、漁、山狩り、アザラシ、葬儀	前項とは別人物
4	20	26.4.21	標茶町虹別ポンシュワン	O. H	女	墓標、イトッパ	
4	23	26.4.21	標茶町虹別	M. S	男	狩り、漁、カムイ、星	
4	27	26.4.	標茶町　虹別	O. H	女	薬、西別川、食、天候	
4	28	26.5. 16	本別	K. S	女	住居、唄、星、葬儀、親族呼称	
4	34	26.5.17	本別町富良知内	S. H	男	イナウ、イトッパ、墓標	
4	37	26.5.17	本別フラツナイ	T. T	男	地域の伝説、イナウ	
4	38	26.5.18	足寄アイカップ生	K. Y	男	熊ほか動物送り、墓標、動植物名、ヌサ・イナウ、キセル、サパンペ	河野ノートでは5.17の日付
4	46	26.5.19	足寄町	K. Y	男	住居、家焼、変死、狩守り神、占い、鹿、薬、カネラン（飢饉の伝説）、入浴、カワウソ	西足寄町役場
4	53	26.5.22	標津オンネチャシコツ	M. M / A. Y	男	ヌサ、墓標	河野同行
4	54	26.5.22	標津	N. K	男	熊狩、墓標	
4	55	26.5.22	標津	M. G	男	衣類、熊送り、屋根	
4	56	26.5.22	標津	T. M	女	ヌサ、イトッパ、墓標、十勝の人、入墨、漁場の仕事	
4	58		標津	A. Y	男	知床越え、イナウ	
4	59	26.6.10	千歳（長沼出身）		K. U 男		千歳神社社務所前河野、知里同行
4	60	26.6.10	千歳　ウサクマイ	I. S	男	葬儀、サケ、船、植物名・利用	
4	64-76	不明	恵庭町カマカ、アウサリ？	T. M / M. S	男	イトッパ、動植物名、伝説、支笏湖、カムイノミ、貫気別川	河野ノートでは千歳カマカ　6.11の日付

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
5	1	26.6.11	千歳	I. S / T. E / K. U	男	動植物名、サケ（さまざまな呼称、料理、図解）、近隣の伝説、星、葬儀、船、人体呼称、イヌ	
5	46	26.6.12	千歳ウサクマイ	O. K	男	ヌサ、川漁、銛、アマッポ、占い、地震、天候（雨乞いなど）	前出I. S、知里真志保も同席か
5	56	26.7.26	日高様似岡田部落	F. S	女	イナウ、魔除け、炉鉤、人物呼称、方位、動植物名	河野ノートではサカンテ
5	63	26.7.27	様似村岡田部落	F. S		墓標	
5	64	26.7.		T. S	女	箕、雪へら	和歌、集落のスケッチ
5	66	26.7.28	東静内	S. O / H. M / H. T	男女	近隣の伝説、血統、イトッパ、動物送り	河野同行
5	71	26.7.29？	東静内	不明			別紙はさみこみ。7.29は写真の日付、写真4枚（イナウ1、墓標3）pp.71はイナウの図解。写真でイナウを持っているのは河野
5	72	不明	三石栄沢、荻伏東姉茶	H. T / U. T	男	沖漁、アカエイの針、コンチ（頭巾）	
5	73-83	不明	静内町字農屋	W. W	男	住居内部、虫、方位、ヌサ、植物、山狩、熊、鹿、サケ、墓標、魚名	
6	1	26.8.25	高島（池田）	Y. S	男	地震、日蝕、漆器、食器、方位、星座、コロポックル、植物	河野同行
6	10	26.8.26	高島（池田）	Y. S	男	熊送り、イナウ、十勝岳伝説、化け物、虫、葬儀、薬、アマッポの印	
6	21	26.8.26	本別	K. S / K. T	男女	本別のコタン、親族名称、出産、キセル	本別弓削旅館 河野同行
6	27	26.8.27	本別	K. S	女	食用植物、リムセ、動作アイヌ語、魚名、賭け事（遊び）、人体名称、地震、植物名、炉鉤、チタラベ	
6	42	26.8.28	足寄	K. Y	男	植物名・利用、日蝕、熊狩、方位、サケ、山での忌み言葉	足寄－陸別
6	50	26.8.29	阿寒野中温泉	K. Y / S. T	男	丸木船、伝説	河野、知里も同行
6	55	26.8.30	野中温泉	K. Y / S. T	男	方位、風、カネラン（飢饉の伝説）、植物名、	
6	59	26.8.31	クッチャロコタン（生まれ）弟子屈	Y. T	男	イナウ、イトッパ、マキリ、方位、風、天候、葬儀、親族呼称	河野同行
6	67	26.9.1	仁伏温泉（弟子屈）	Y. T	男	地名、イナウ、オビラメ、酒、住居	
6	73	26.9.1	美幌、斜里	K. K / M. Y	女	植物、日蝕、薬、風、漆器、動作（座り方）、出産、サケ、住居、親族呼称、人体名称、なぞなぞ	美幌野崎コタン 河野同行
6	92	27.5.11	石狩町生振、浜益カシラギ	K. M / Y. E	男	樺太アイヌの話、伝説、植物、カワウソ	
6	94	27.6.7	旭川	K. M	女	ウポポ、踊り	河野同行
6	95		旭川	S. I	男	踊り、人が死んだときのカムイノミ	河野同行
6	97	27.6.7	名寄	K. I	男	葬儀、墓標、出自、動植物名、狩猟とくに鹿猟、葬儀、熊・梟送り、方位・風、かんじき、イトッパ、パスイ、陰部、川漁、移住、遊び、月（生業暦）、イナウ、矢	河野同行
7	1	27.6.10	名寄	K. I	男	植物利用、毛皮交易、植物繊維、シトキ、熊	河野同行
7	7	27.9.16	阿寒布伏内	A. R	男	フントリカムイ、道、家系、カムイノミ、地名	河野同行

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
7	11	27.9.22	静内	W. W	男	ミンヅチカムイ、ヌサ	
7	15	27.9.23	新冠	F. S	男	チノミ・シリ、判官館、氷川神社のカムイノミ	27.6.23となっているが9月の間違いであろう
7	16	27.9.23	新冠？	K. T	女	ミンドチ、薬草	
7	18	27.9.23	新冠	K. T	男	チノミ・シリ、イナウシロシ	
7	19	27.10.31	旭川	K. M	女	カムイノミ、河童、キムン・アイヌ、悪き物、家系	河野同行？
7	23	27.11.1	名寄内渕	K. T	男	人名、美深・名寄・旭川・鵡川	
7	24	27.11.1	名寄	K. K	女	コタンコロカムイ、貝	
7	25	27.11.2	名寄内渕	K. T	男	地域の情報、伝説、山狩り、漁、宗原家、シロシ	
7	29	28.2.1	鵡川潮見二区	K. K	男	モシリケシ・モシリパ、シシャモ、シリカプ、狐、漁、父母呼称	
7	36-38	不明	穂別シケレベコタン	M. E	男	地震、狩り、漁	
8	最後						
8	1	28.5.20	塘路	Y. T / 佐藤直太郎	男	表題は「とうろコタン」	佐藤は市立釧路図書館長、河野同行
8	1	28.5.21	釧路	S. N	男	釧路のアイヌについて（系統など）	市立釧路図書館長車中談
8	3	28.5.21	塘路	I. T		着物、住宅、熊、病、熊送り、ベカンペ祭、食生活、チャシ、猟禁忌、裁判、出産、雨乞い、日蝕、葬式	河野同行
8	14	28.5.22	標茶　虹別	I. T	男	イナウのイトッパの図	
8	16	28.5.22	標茶　虹別	M. S	男	家系、住居、信仰、狩り、病、漁、呪術	
8	23	28.5.22	虹別シュワン（標茶）	O. H	女	病気、保護地	前出M. Sも同席
8	24	28.5.23	塘路村コタン	T. S / T. / S.		イナウのイトッパの図	
8	25	28.5.23	塘路村コタン	F. S		ヌサ	
8	26	28.5.23	塘路	I. M	女	ムックリ、出産、結婚、魚類、葬儀、マタギ	小原のババ？
8	30	28.5.21,23	塘路	F. S	女	墓地、コタン、酋長、ヌサ	
8	32	28.5.24		K. M	男	アイ・シロシ、竪穴	
8	34	28.5.6	弟子屈	Y. T	男	熊狩（テープ起こし？）第７話まで、伝説、温泉、漁、墓、狩禁忌、狐送り、ヌサ、先祖祭	
8	47	28.6.7	弟子屈	Y. T	男	熊狩（テープ起こし？）第８、９話	
8	57	28.6.8	遠軽	不明		遠軽伝説（上川アイヌと湧別アイヌの戦い）	白井洋子輯
8	58	28.6.27	静内	O. H / A. T貝田町長	男	津波、荻伏	
8	59	28.6.28	静内目名	A. Y / M. K / K. M / W. W	女	病気治療、葬儀、河童、イナウ	ケールン（積石墳墓）祭にて新聞記事３
8	65	28.6.29	新冠村泊津	F. T	男	家系、信仰、動物送り、月、葬儀、薬、気象、滝漁、住居、衣類、入れ墨、シャクシャイン	
8	80	28.6.30	新冠　去童	N. S	男	ヌサ、伝説、狩り、葬儀、狐神、伝説、狩猟、スルク、タブー、血統	
8	90	不明	鵡川	不明		鵡川の古老達	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
8	91	28.7.1	鵡川村鮫部落	K. K	男	地獄穴、狐、幌尻の白熊、チノミシリ、漁船、星、伝説、ヌサ、呪術、雨乞い、津波、薬、裁判	
8	118	26.4.19	本別ピリベツ川東	Y. T	男	狩りの神、挨拶、占い、アマッポの印	永田栄輯？
8	121	28.7.9	音更町下音更開進	T. M	男	ヌサ、ノミ、祭、血統、伝説上の生き物（キムンアイヌ、フリカムイ、フンドチカムイ、地名由来（ヌプカウシヌプリ）矢印、スルク、熊狩、鹿笛（図解）、狩のタブー、雨乞い、変死、熊に襲われて怪我したら墓標	
8	136	28.7.10	音更町下音更開進	T. T	女	アツシ、薪、丸木船、針、ポンクッ、病気治療、ツス、出産	T. Sの伯母（戸籍上では母）
8	149	28.7.11	音更	T. T	女	山火事、食生活、熊解体、住居、山男	
8	163	28.7.12	本別町	K. N	男	芋、家焼き、食生活、衣、産湯、畑作、狩り禁忌、大水、水死、ウポポ	
8	172	28.7.13	本別町フラツナイ	O. Y	男	漁	
8	175	28.7.13	本別	K.	不明	河童、くいな、地獄穴、初漁、魚料理	K家にて見聞記
8	179	28.7.15	名寄町	山口公民館長		子どもの頃に聞いた話（昔アイヌが宝物をしまった穴、毛皮交換、川漁）	
8	180	28.9.5	塘路	T. T / I. M	男	ベカンベ祭、イナウ、魚、前夜祭、熊狩、キケウシパスイ、祖先祭、変死、祭壇、サパンペ、木伐	河野同行
8	186	28.9.6	屈斜路	Y. T	男	イナウ、熊送り（頭骨の飾り付け図解）入墨、カムイノミの順序	河野同行
9	2	28.11.2	名寄	K. I	男	草木、着物、人送り、占い	
9	5	28.11.3				増毛町畑中町、青木氏所蔵、杯状の器図	
9	6	28.11.5	室蘭	M. S	男	狐、葬送、地獄穴、葬式、狩、トリカブト、うらない、先祖祭、疫病除、木幣	
9	9	29.1.14-15	鶴居	Y. K	男	親族、地名由来、鮭料理、植物、熊祭、イナウ、ヌサ、祖先祭、葬式、日蝕、地震、風止、雨止、雨乞い、漁占い、踊り、気象、山小屋、鹿狩り・漁のタブー、古部落、熊送り詳細図	河野同行 「母とY. Tの父は兄弟だ」
9	35	29.1.	鶴居	H. S	女	釧路アイヌ、鹿の神、心臓汁、イトッパ、踊り、熊	Y. Kの手紙では被調査者の姓の漢字が異なる
9	38	29.1.16-17	鶴居	Y. K	男	カムイノミ、熊、仕留め矢、花矢、雪、酒造り踊り	
9	44	29.1.17	鶴居村下雪裡	Y. K	男	狩り占い、熊の爪踊り、シロシ、タラ、クワ、鳥、山猟	川湯温泉にて
9	53	29.2.22	新十津川村吉野	S. T	男	空知系伝説、祭、ノミ場、千歳Ｉ氏の先祖、熊、家系、ヌサ、熊祭、先祖祭、家神、遊戯	河野同行
9	53	29.2.23	新十津川村吉野	S. T	男	イオロ、熊の穴、鶴、熊狩り、アマッポ、スルク、山の怪、鹿狩り、山猟のタブー、印、漁撈法、食生活、初漁、魚肉、コタン、木の水、住居・建材、クワ、シロシ、食草、葬式、魔物、ラッコ、山猟、地獄穴、山男、鳥、薬	
9	74	29.3.28	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. T	男	鷹巣、チセノミ、熊祭、仔熊、不幸、湖祭、川漁、病気、イナウ、祖先祭、アツ、キナ、鶴、踊り	3月下旬からF. マライーニの「熊祭」撮影のため屈斜路湖畔で約3週間を過ごす 河野同行

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
9	79	29.3.29	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. T	男	尻拭き、輪投げ、カケス遊び、ウポポ、イナウ	
9	85	29.3.30	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. T	男	Kamuy so kawa kamuy ran	
9	86	29.3.31	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. K / K. G / Y. T / Y. I	男女	蜿、靴、鮭、熊祭りのタブー、山狩、犬送り、白鳥、シケレベ	
9	87	29.4.2	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. K / K. G / Y. T / Y. I	男女	氷を去らす法、風、アイヌが毛が多いわけ、天気占い、火事を除ける法、天気祈願、kamuy kuri	
9	90	29.4.3	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. K / Y. I	男女	食料、マタンプシ、ウポポ、円山の伝説、屈斜路コタン、uebe kotachi, uko poike, uko tushi etai、花矢	
9	93	29.4.5	屈斜路コタン（弟子屈）	Y. K / Y. I	男女		94「アスコ　マライエネ」　とメモ
9	96	29.5.8	近文	I. A	男	伝説（エベタムシマ、雨龍沼、妹背牛、一己、神居古譚）	
9	100	不明	鶴居	Y. K	男	熊祭（手紙による回答とその清書）	
9	106	29.8.5	塘路	不明		踊り、船歌	
9	108	29.8.8	塘路	T. T	男	下着、刀踊り、チャランケ、マリモ	
9	110	29.8.31	近文	M. T / M. T / M. K / S. K / I. K / O. E	女	ムックリ、ウポポ、ヤイシャマ	
9	113	29.9.10	春採（釧路）	不明		キツネの踊り、ウポポ	河野同行
9	118	29.9.11	塘路	S. C	男	ペカンペ、カムイノミ	
9	119	29.9.14	釧路	I. F	女	動植物名（海獣、魚、鳥、海草、貝、気象）、家の中のこと	I. F氏ノートの筆写
9	124	29.9.14	標茶	T. T	男	鮮釣り、ヌサ	春採で聞き取り
9	126	29.9.16	阿寒	A. R	男	釣り糸巻、シロシ、樺舟	
9	127	29.9.17	桂恋（釧路）	不明		桂恋のヌサ、ウポポ	桂恋で聞書
9	128	29.9.17	春採	I. F	女	動植物名、衣、天候、舟、気象、身体語彙、行動、親族呼称、色	塘路にて筆写
9	133	29.9.18	鶴居	Y. K	男	運試し、マラプト、刀踊り、家の中のカムイノミ、ペカンペ祭、熊祭り、犬送り、花矢、野営、スルク、雷	塘路にて
9	142	29.9.19	鶴居	Y. K？（「Y. Kに聞くこと」と言うメモがはさんである）	男	ヌサ、イナウ	ペカンペ祭にて 教育委員会制作の映画撮影と思われる
9	144	29.9.20	白糠	J. Y	男	生い立ち	塘路にて
9	145	29.9.21	屈斜路	Y. T	男	初漁の鮭、熊祭りのウポポ、朝の挨拶、他の動物の送り	塘路にて
9	149	29.9.27	塘路			ウポポ、秋祭　タブー	塘路湖にて
9	150	29.9.27	阿寒	S. O	男	阿寒の地名、カムイウポポ、鳥神、阿寒のコタン	
9	151	29.9.28				日付のみ内容なし	
9	152	29.10.8	美幌	K. G	男	ペカンペ、台風、競踊、マリモ、火の玉	
9	153					北海道旅行中の見聞記（筆写）	大野延太郎『東京人類学雑誌』15巻（164号）
9	194					人物名：十勝芽室太　N. T、T. M 新十津川　S. T、I. N、I. K 登別温泉更生寮　M. H 室蘭イタンケ　M. S 下佐呂間　ヒャク婆 鶴居村下摂理　Y. K 釧路市春取　A. F	155～192白紙

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
10	1	30.3.9	美幌	K. G	男	島のでき始め、人間創成、熊祭、植物、カケス達、アヲシマイの伝説	
10	6	30.3.10	屈斜路	Y. T	男	病気除け、鮭の子、ペヌプ、熊祭、イピレノミ、動物	
10	13	30.3.21	美幌	K. G / K. K	男女	やちまなこ、雪だるま、酒こし踊り、あいさつ	
10	17	30.3.22	美幌	K. G	男	ヌサ、イペレアイ、ポンパケ、踊り	
10	21	30.3.22	本別	K. T	男	K. T氏よりの返事（ハガキ）	
10	22	30.3.9	鶴居	Y. K	男	（手紙）（返事）	
10	24？	30.6.16	近文	S. B / A. S / S. K	女	唄	
10	26	30.6.30	静内	O. N	女	白鳥子孫、月の中の子ども、幸福の糸、女の飲めない酒	
10	28	30.6.30	東静内	S. T	男	天気予報、星、キナンポ・シリカップ等の漁	
10	32	30.8.16	屈斜路	Y. T	男	鳥	
10	33	30.8.15	標茶	Y. H	女	ベカンペ祭	
10	34	30.8.17	塘路	T. T	男	スルク（トリカブト毒）	
10	35	30.8.17	塘路	I. T / Y. H	女	ベカンペ祭、マイタケを見つけたときの様々な神へのあいさつ	
10	40	30.8.28	千歳蘭越	I. S	男	ベカンペ、支笏湖、星、漁、狩	
10	44	30.9.3,4	塘路	T. T	男	菱祭当日、式次第、踊り	
10	47	30.9.7	屈斜路	T. C / K. H	男女	オピラメ漁、カムイノミ、湖の神、アッツカル、ウバユリ、トーコロカムイノミ	Y. T談も記述→格式ある老人たちの挨拶
10	50	30.9.8	阿寒	S. O	男	春祭、秋カムイノミ、湖の神、カパチェップ、阿寒部落の先祖伝説	
10	54	30.9.8	美幌	K. G	男	マリモ、化物、星	
10	55	30.9.30	千歳	I. S	男	ラオマップ、ウライ、アマッポ	
10	61	30.10.2	塘路	Y. H	女	ウポポ	
10	62	30.10.3	鶴居	Y. K	男	yasi（袋網をひいてする漁）、ウライ、マレッキ、月の中の子ども、星、鳥、熊送り	
10	70	30.10.5-6	鶴居	Y. K	男	熊送り、鮭漁いろいろ	
10	82	30.10.10	阿寒	S. O？ / A. F？	男	ヌサ、ウポポ、漁、イナウのイトッパ	
10	84	30.10.14	阿寒	A. F	男	オピラメ漁、カパチェップ漁、イナウのイトッパ	釧路秋田屋旅館にて
10	85	30.10.15	鶴居	Y. K	男	狩のタブー、16日羅臼への道中、堅雪の祈り、アマッポ、PP.86－　17日羅臼山中、羅臼の地名、刑罪PP.87－　18日羅臼山中　山狩、宿泊、岩棚の神、虫、PP.88－　19日羅臼山中、妊娠中の熊、鳥、山の祭壇、山狩のタブー	
10	93	30.12.10	八雲	S. T	男	オットセイ漁、カモメ、シトキ、大型魚類、鯨、海、船	
10	100	30.12.11	八雲	S. T	男	鰊雪、魚の釣れないときの悪口、山の神姿、東風追い、地域伝説	
10	110	30.12.11 夜	長万部	O. T	男	オットセイ狩り、捕鯨、熊狩り	
10	122	不明	虻田	Y. T	男	オットセイ、船に関わる名称、キナンポ、駒ヶ岳の噴火、獲物の霊送り	pp.126　鵡川出身K. Sからの聞き取り？洞爺の中島の伝説
10	127	30.12.13	虻田	N. K	男	鳥、時化止め、キナポとり、沖漁、鯱神	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
10	132	30.12.14	豊浦　大岸	M. T	男	伝説の岩、ぺんぺコタン	
10	133	31.1.9	新十津川	S. T	男	底なし沼、雨龍沼、積丹の山の飛龍、川漁（ヤシ図解）、船、漁、死人が生き返った話、鳥、哺乳類、天候	札幌にて
10	154	31.1.17	阿寒	S. O	男	カケス、ツル、コタンコロカムイのとったときのイム、踊り、蚊の女王にとられたオタシト。ンクル	
10	160	31.1.18	美幌	K. M	女	津別のコタンコロカムイ、チミケプ沼、カケス	
10	163	31.2.15	鵡川	K. K	男	シシャモ漁、氷漁、シャベ？、トッカリ	
10	166	不明	鵡川	K. K？	男	シシャモ漁のシナリオ	（K. Mより借覧）
10	171	31.2.18	阿寒	A. K	男？	ヒメマスが鈎につかないときの言葉	
10	172	31.2.18	阿寒	S. S	男？	雪、寒さ、オタシドンクル、ピリカネップ伝説、悪熊	
10	177	31.3.8	白老	U. M	女	月の中の子ども、シリカプ漁	
10	178	31.3.9	登別	C. T	男	クッタラ湖、日和山、オカシペツの伝説、フンベサパの伝説	
10	181	31.3.24	八雲	S. T	男	熊の頭、出漁の祈り、獲物の迎え、十勝人の悪態、カモメの啼声、最初の鮭、鮭祭	
10	187	31.3.25	八雲	S. T？続きか？	男？	海の獲物の魂送り、イナウ、ヌサ	
10	189	31.3.25	長万部	O. K	男	鮭祭、貝類、熊の穴を探るときの木の神への祈り、チャランケ	
10	195	31.3.24？	白老	M. T	男	クッタラ湖のウバシクマ、カジキ、沖漁の目標／守り神	（手紙）とかいてあるがノートに書き写してある 実際の手紙はNO.11にはさんである
11	0	31.3.24 消印	の白老	M. T	男	クッタラ湖のウバシクマほか	はさみこみ
11	1	31.4.15	阿寒	A. F	男	shu　okkay、阿寒のカムイミンダラ、ツスイナウ，占い	
11	5	31.4.16	阿寒	A. F	男	海、狩、ヌサ	
11	8	31.4.17	阿寒	A. F	男	島、タイマツ漁、蛇のたたり	
11	12	31.6.22	帯広	吉田巌（N. Y）	男	N. Y（アイヌ名エペチカリ／音更在・先祖は網走）の話：有珠の鐙、狩占い、クマゲラ、クマタカ	
11	14	31.6.23	帯広	H. H	女	チョマトー、行者ニンニク、チョウザメ、クモ、noiporokusu（noip ikusu:脳みそを突き通す）人の来るほう、獣のある方から感じてくる、然別湖、湖畔の祭壇、イワナ	
11	17	31.6.26	帯広	K. S	男	然別湖の伝説、ヌプカウシヌプリ、ポロシリ岳、シカの下るところ、熊の穴の印、サチリカムイ、菱祭、鶴、鳥の神、岩棚の神	
11	21	30.9.1（年・間違い？）	東静内	S. T	男	ヌサ（図も）、キナンボ（図も）漁、シリカップ漁、キテ、亀、沖での目標、家の守神	
11	28	31.10.6	近文			新聞スクラップ弓成山は聖地だ　伝説調査で判明　更科・門野・河野・前田市観光課長　北海日日新聞、他1	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
11	28	31.10.5	近文	M. N	男	ヌサ、イナウ（図も）、魔除け、オトイパシリ、狐神、星岩、チカプニチノミシリ、シマフクロウ、ムカゴイラクサ、ドングリほか植物名・利用、エゾフクロウほか鳥名、鹿、山犬部落、まいたけ、サンペ汁、ヤツメ	
11	35	31.10.6	新十津川	S. T	男	弓成山展望台にあったイナウ（図付）、浜益の話、リス、カワウソ、熊、ヤツメ、オオバセンキュウほか植物利用、弓、フクロウほか鳥名、ハシナウカムイ、ヌサ（付図）、毒龍？、悪熊、熊の路印、矢、団子（熊送り用）、花矢、	
11	42	31.10.7	近文	I. A	男	狐神、タナシ（石狩川岸の丘・付図）、tot　so、神庭、キピリの沼、（中愛別駅付近図）	河野同行？
11	46	31.10.7	近文	M. N	男	近文、kabap sey（コウモリの殻）、ウバユリ、悪神の簗、リス、熊狩、矢、熊祭のイナウ、猟神、バウチキナほか薬草、狐神、アツシ	
11	49	31.10.24	阿寒	S. O	男	たいまつ、イナウ（S家の守神）、川・湖の名	
11	50	31.10.30	近文	M. N	男	チノミシリ、kabappu sey, amay kur kucya, kutunne siri cyasi, cyu usi piri, ikausi, 夜漁、熊の鼻皮、サケの下顎骨、許婚	
11	53	不明	東静内	S. T	男	河野氏訊書（チノミシロル、フンペシュマ）	
11	54	31.11.26	伏古(帯広)	H. H	女	然別の山の神、鷲祭、サルルンカムイウポポ	
11	55	32.5.23	近文	M. N	男	植物利用（樹木42種）	
11	62	32.6.17	近文	M. N	男	植物利用続き（草本25種）	
11	66	32.7.18	近文	M. N	男	近文のチプサンケカムイノミにて。ペニウンクルコタン、チプサンケカムイノミ手順、地名（トムラウシ、ヘッチュイウシ、サマイクルチセ、ペテトク、モシリケシ、オプタテシケ、オマンペツ、ワッカペケレペツ、大雪山）、イナウ、鳥（河鳥カッケウカムイ、白鳥、ガン）、道具（雪おろし）	
11	71	32.7.4	近文	S. K	女	唄（エラッテ　ウポポ）	
11	73	32.8.12	二風谷（平取）	N. I	男	平取の川向の山、二風谷、カンカンの伝説、矢印、シラッキカムイ、送る鳥、サパウンペ　ノカ、伝説（ウカイロシキプ、シルクカラウシ、オプシヌプリ）、植物名、カラス鳴き、ソコンニ（ニワトコ）カムイ、染料	
11	78	32.8.13	平取	K. F	男	オコツナイの由来、サキソモイプ、祖先、チセコロカムイ、イプンキネカムイ、シラッキカムイ、ヌサコロカムイ、コタン	(K. Kは昨日から魚釣りに入ってて留守)
11	80	32.8.13	長知内（平取）	K. T 妻	女	トゥレプンナイ、木枕、ケトゥシ、レタラピラコタン、シケレベキナ、シューキナ、洞窟	
11	81	32.8.13	荷負（平取）	K. T	男	祖印、ノミする山、地名由来・伝説、送る鳥、鹿、トパットミ、系図、雷、シラッキカムイ、ヌサコロカムイ、イプンキネカムイ、チセコロカムイ、鶴、鷲、シランパカムイ、熊の王、ソコンニフチ、狼、蛇、悪熊、エムシ、葬式、植物利用	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
11	91	32.8.14	二風谷	N. I	男	ヌサ、ソコンニカムイ、パセイニシュ	
11	92	32.8.14	二風谷	N. K	男	シンヌラッパ、ハシナウカムイ、ヌサ、キケウシパシュイ、エクパシュイ、女の髪、ペナコリ、ペンケユクハシ、パンケユクハシ、雷、雨、寒さ、花矢、シルク、捧酒、家の見取り図、カムイサンペ、	
11	97	32.8.25	二風谷	N. I	男	住居とヌサ（付図）詳細、サクソモイプ、遊戯（ウワイコイキ、カリッパシ、シリカプオッケ）、穴熊、子守唄、ヌプマクコッチャケタのウコチャランケ	
11	103	32.9.22	静内農屋	M. T / I. Y / S. S	男	サケ儀礼、食えない蕗の伝説、フシコカムイノミウシの宝箱、イナウ（付図）	O. Mの名も在り
11	107	32.9.23	様似	O. S	男	アポイ岳伝説、様似川、エンルム岬の神、サマッキヌプリ、咽喉のトゲをとる法、ピンネシリの神樺、鹿、狩守神、家神、農屋の祖先伝説、送る鳥	
11	112	32.10.30	虻田	T. T	女	虻田の伝説	虻田町亮昌寺　笠谷教尊師稿・白井柳治郎氏（書写）
11	115	32.11.10	広尾上野塚	H. M	男	モシリパ、カムイシリ、カムイヌプリ、ラッコ川、ラッコ岳の神、広尾のフンペ、ピンネシリ・マチネシリ、地名解（歴舟、豊似、大樹、広尾、野深）、エトゥルシ（熊の鼻の皮）、イオロ、キムンヌサ、シカの下りる山、鯨とシャチ、浜益の話、義経、海漁、鹿笛、立岩、イナウ、ソコンニカムイ、病気のとき、河童、山狩のタブー、浦幌、売買、エゾニュウ	
11	122	33.1.9	空知	S. T	男	流行病、フクロウ送り、悪熊、トゥムンチイノノイタク、墓標、サマイクルの悪口、寒さと吹雪、蛙、カバトの料理、イトゥラシケ、チャランケ、サマイクル遺跡、トビ、アブラコのイナウ、カムイシリ、北見富士	更科宅で、河野と（藤村 1984）
11	127	33.2.11	紋別	N. W / H. T / O. K	男	紋別近辺の山・川の伝説（大山、モシリパ）、熊祭	紋別市立郷土博物館図書館・紋別市立郷土博物館友の会1972『会報オホーツク』創刊号　pp. 2－11「更科源蔵先生とアイヌの対談（1）」に内容所収
11	130	33.3.19	余市	T. Y	男	ヌサの位置、オマンルパル、ヘロキカムイ、ヌサ、	
11	131	33.5.1-3	長知内・荷負・貫気別（平取）	K. T	男	オパケヌンペの伝説、フリー伝説、ケナシウナルペ、トキットの話、サクソモイップ、ポロサル部落のトパットミ、ペッカントー、荷負のチャシ、貫別コタンの先祖、ポロシリ、ロクンデ　エトゥ、病気除け、鳥（15種）、モシリパ、チノミシリ、ヌサ、化け物、植物（24種）キノコ・コケ（付標本）、星、血統	
11	142	33.6.7	二風谷	N. K	男	ainu peurep, pasikur keusyut	
11	143	33.6.21	名寄	K. I	男	東の神と西の神、アシリチェップノミ、チュクチェップノミ、酋長、狐、カラス、カケス、鶴、植物（10種）、気象、地名、猟区、祖先、天塩川	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
11	147	33.8.21	雪裡　下雪裡	Y. K	男	目踊り、熊送り、リムセ、男山・女山、天気予報、湯、米、謎、家屋作り、家の守り神、病気のイナウ、化け物、くま祭、熊の血、悪魔払い、木の神への祈り、釣れない魚への悪口、月の伝説、うるし、カケス、カラス、フクロウ、火の神への捧げもの、踊り、冠、タプカラ、歌（オプタテシケ）	
11	156	33.10	常呂、美幌（両者とも阿寒生まれ）	F. K / T. F	女	ピリカネップの伝説、北見富士の伝説	
11	157	34.1.29	佐呂間	Y教育長		温泉、下佐呂間のチャシ	
11	158	34.2.1	紋別	N.W？	男	オタフンペ、ボラ、チプカニイワ、チトカニウシ、カラス、カケス、シマフクロウ、動物名（オオカミ、イルカ、トド、アカエイ）、イナウ（付図）、やちまなこ、葬式、オホーツク海岸在住の古老	
11	162	34.3.3-4	芽室	H. Y	女	十勝川、天の川、地震、鳥、チョウザメ、訪問、山、病気除け、ホーソウ神、病気、ヌプカウシヌプリ、狐、ツス、芽室太、病魔払い、クモ、植物利用、墓標、葬式、サンペオハウ、アツシ、丸木舟、寒さ、N. T嫗談、鮭草、サルオガセ	
11	170	34.3.4	芽室太	N. Y	男	ニワトコ、スプサン川、ヌプカウシヌプリ、カムイエクッチカウシ（熊の通る道）	
11	171	34.3.5	清水生まれ	K. U	女	雨止め、雪止め、吹雪止め、寒さ、天の川、酋長を決める、近隣の山、山鳩、春の雨、風、サマイクル伝説、カラス、送る鳥、星、神窓、屈足のウインシリ、シマフクロウ、鷲、鶴、くず、イケマ	芽室太にて
11	177	34.3.6	清水	K. U	女	ニトマップ（人雲）、鮭の骨、鮭漁、鳥貝、地名（シンタオツ、カムイロキ、ポンカムイコタン、イヨクウシ）、雷のいる山、オオカミ、十勝伝説	北芽室太　K. Y, A. Yとメモ書き
11	180	34.3.7	紋別	F. Y	男	オタチップ、チプカニイワ、カムイチポチ、ノテト、アザラシ、魚類、鯨、貝類、佐呂間地名（キマネプ、ニクルパケ、ワッカ）、氷漁、遠軽の岩、アホウドリ	
11	184	34.3.8	芽室	K. U	女	月（1～12）、流星、夜カラス、カッコーの夜鳴き、白鳥、カッコーのオイナ、十勝川、広尾の立岩（ワタラ）伝説、日方川の伝説、アイヌクッチ、アイヌシケレベ、蝉、ホッチャレ	
11	188	34.5.16	十勝大津？	K. M	女？	シシャモ	
11	189	34.5.18	白老	M. T	男	猪、カムイノミ、白老川	
11	190	34.6.18	北見枝幸にて	中頓別役場の運転手の話、枝幸の漁師の話		枝幸のチャシ、鳥居の島	
11	191	34.8.2	近文	M. H	男	オオカミ、マタタビ	
11	192	34.8.3	阿寒	S. O	男	植物（ゐ？pon chikap kina、キンミズヒキ、笹の実、マタタビ、エゾウコギ）、星	
11	193	34.8.6	鵡川	K. K	男	植物（ハマナスの実、マタタビ、シロヨモギ、ハマムギ、ボウフウ）、動物（帆立貝、ふじこkakura）	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
11	194	34.8.7	二風谷	K. S	男	近隣の地名由来・伝説、大川の神に祈るとき、植物（18種）、数（20,30,40,5060,70,80,90,100,1000）、暁の明星、日高ポロシリの神の名、矢、火の神、カシケウシ、祖先祭、時化を呼ぶ法、雨を降らせるには	
12	1	34.8.8	平取二風谷	N. K	男	地名・伝説	
12	2	34.8.9	静内	S. T	男	地名、染退川	
12	3	34.9.1	静内農屋	W. W / S. S / M. T	男	貝の伝説、女の鉢巻、カムイシュマの伝説、地名由来・伝説、鳥、フリー、悪熊、雨止、タシロと山杖、祖先、踊り	
12	12	34.9.2	荻伏　東姉茶	U. K / U. R / U. I	男	地名由来・伝説、蛙の王、鹿の王、犬がものを言えなくなったわけ、ヌサ、雷	
12	18	34.9.3	三石	H. T / H. K	男？	カムイノミ、地名由来・伝説、イトッパ、星、鳥、雨止、守り神、冠、カジキ	
12	27	34.9.4	門別厚別川筋美原	T. U / A. T / T. T / U. K	男女	植物、地名由来・伝説	
12	28	34.9.4	門別受乞	K. F	男	地名由来・伝説	
12	31	34.9.4	門別新平賀	H. W	女	熊の歌、ウポポ、雲、イナウ	
12	33	34.9.4	門別　沙流太	N. M	男	地名由来、オキクルミ、フリー伝説刀、パスイ、シュト打ち	
12	38	34.9.5	富川	N. M	男	沙流太コタン、姓、地名・伝説	
12	40	34.9.5	新冠滑若	K. Y	男	姓、神、亀、津波、伝説、フリー、イナウ、カジキ	節布の市街から新冠より河岸のサムタイ部落にY. S という80位の老人がいる
12	43	34.9.6	東静内	S. T	男	カジキ、亀、フンベシュマの伝説	
12	45	34.9.6	静内農屋	W. W	男	農屋祖先伝説	W. W筆記　藤本英夫所蔵
12	48	34.10.13	浜益オサツナイ	K. S	女	黄金山、魚名、K. K談　熊祭、家、戦い	K. Jの娘
12	51	34.11.5	紋別元紋別	N. W	男	近隣の伝説（チウェンチャシ、シーイチャンナイ、ソー）、オキクルミ	
12	53	34.11.9	宗谷尾蘭内	K. B	女	トド狩、柵内の弁天　サンナイペッモイレパマツの伝説、モインレシカカルク物語	
12	71	34.11.26	平取二風谷	K. S	男	あほうどり伝説	
12	73		余市	I. U	男	余市の伝説	北海タイムス掲載（昭和4,5年）
12	74	35.3.5	平取二風谷	N. I / N. M	男	タバコ、野営、木、染色、	
12	76	35.3.6	平取二風谷	N. I / N. M	男	酒つくり（図解）、ヌサ、踊り、	
12	81	35.6.23	虻田	T. T / Y. T / K. S	男	地名・伝説、葬儀、出産、入墨、病気、衣類、建物、魚名	
12	96	35.10.3	虻田	T. T / Y. T	男	祭壇、熊祭、狩猟、オットセイ、鳥	
12	101	35.10.4	虻田	T. T / Y. T	男女	虻田人、沖漁、着物、入墨、育児、キノコ採り	
12	105	35.10.5	虻田	T. T / Y. T	男女	遊び、結婚、出産、病気、葬儀、住居、食料、子守唄、漁撈、樹木、鼠送り、寒風、歌	
12	115	35.10.6	虻田	T. T / Y. T	男女	地震、暴風、雨乞い、津波、気象、鳥、刑罰、有珠岳の麓の部落の伝説	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
12	122	36.3.5	美幌野崎	K. K / K. Y	女	ポンサマイクルのイム、阿寒の雷神、裁判、貝のyaukara、葬儀	紋別市サルル市街のN.Uはトンコリが上手だ　層雲峡O. K
12	126	36.3.30	富川沙流太	N. M	男	住居、ウエベケレに出る人、ペナンペ、エクレスイニシパ、ヨモギ、遊び	
12	138	36.4.3	虻田	T. T	女	カッコウの嘴、或る老人の妻の話、ユーカラ、プロビデンス号、ペナンペ・ウライウシペツのニシパ、有珠岳噴火	
12	149	36.4.12	雪裡	Y. K	男	カッコウのユカラ、山鳥のtuytaki、雀のtuytaki、鷲の娘のsakorobe	
12	163	36.4.13	塘路	Y. H	女	鹿に化けた娘	
12	164	不明	常呂？	不明	女	maeiyukara、大木物語（cikurni yayukara）、ヤイシャマ	
12	170	36.3.16	本別	K. N	男	馬の話	
12	174	36.4.18	芽室太	K. U	女？	植物、鳥	
12	182	36.4.25	富川	N. M	男		
12	192	36.4.29	長万部	N. S / S. K / C. U			
13	1	36.5.3	雪裡	Y. K	男	フクロウ送り、「牡鹿の鐙」、家を建てるときの注意、遊戯、摩周中島の伝説、「山の槍投げ」、雪裡川、オプタテシケプの歌、やまべ	
13	11	36.5.4	白糠	A. Y？	女	ヤイシャマ	
13	12	36.5.6	芽室太	K. U	女	ウチャシクマ、ユカラ「風の神」、オイナ、子守唄	
13	19	36.5.24	宗谷	K. H	女	化鯨の伝説、冠、流氷、ガン、エハのト。イタキ、タバコのサイムン、「神水と鍔を取り換える」、虹、「キナサロンマッとレタッサロンマッ」	
13	24	36.6.6	稚咲内	T. S	女	地震、日蝕、火の神、貞操帯、入墨、墓標、ヘチリ	
13	26	36.6.7	宗谷	K. H	女	笹の葉の飯盛、油飯、子熊、ウチャシクマ、	
13	27	36.7.23	鵡川町汐見（鯵部落）	K. K / M. T	男女	ウエペケレ、山鳩の歌	
13	30	36.7.24	鵡川町春日（萌別コタン）			鯨踊りの歌、地震のときの呪文、春（夏）喜びの歌、ひばりの歌、うたがい踊り、警戒の歌	
13	32	36.8.16	近文	M. T / S. K	女	植物名、鳥名、遊戯、子どもの髪型、ウポポ	
13	35	36.7.23	鵡川町汐見	Y. Y / M. T	女	子守唄	
13	37	36.7.24	鵡川町春日（moy pet）kanay	A. T / A. U / N. T / M. M / H. M / S. K / S. R / H. M / A. A / K. K	男女	歌、鯨踊り、雪除け	
13	44	36.8.11	虻田	T. T	女	子守唄、イラクサ、労働着	
13	47	36.8.26	穂別安住	Y. F	女	歌	
13	48	36.8.27	穂別和泉	Y. A / H. O / K. T	女	歌の種類（演目？）、ホリッパ	ノートには①～⑳までの演目が書いてあり、はさんであった原稿用紙に「つづき」として21～26がある。
13	50	36.8.29	富川ピタラパ	H. O / H. T / H. M	女	チカップ・ハウ	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
13	52	36.8.30	門別幾千世	S. K	女	ウポポ、ホリッパ、	
13	54	36.9.29	平取町荷菜	H. H / S. M / N. T / H. Y / H. W / H. T	女	子守唄、ウポポ、熊の子守唄	平取町内の調査は萱野茂氏同行
13	58	36.9.30	平取町去場	N. Y / H. S / H. S / H. I	女	歌、	
13	64	36.10.4	平取町去場	H. S / N. U / N. F / N. Y	女	歌、遊戯、呪文（目にごみが入ったとき、夜水を汲むとき、子どもの夜泣き、氷をわたるとき、ダニに食いつかれたとき、悪い熊にあったとき）、日蝕、地震、大風、	
13	70	36.10.3	平取町ペナコリ	K. U / K. M / K. K	女	ウポポ、子守唄、烏送り、ハラルキ、カムイユカラ、呪文、ウエペケレ	
13	78	36.10.2	平取町二風谷	H. I / K. M / K. T / K. N / K. C / H. T / K. M / M. H /	女	ウポポ、イヨンノッカ（子守唄）、蝉、戯唱	
13	89	36.10.4	平取町二風谷	K. M / K. T / K. C / K. M /	女	ウポポ、日蝕、地震、大風、大雨、雨乞い、虹、夜水汲むとき、シリカップ物語、目星、目にごみ入ったとき、歯が抜けたとき、荒熊に会ったとき、家事、難産、老鴉	
13	103	36.10.28	ポロサル（荷負）	K. C / K. U / K. M / H. U / K. H	女	大風、大雨、地震、目星、ヤイシャマ、ウポポ	
13	107	36.10.29	荷負本村	K. T / K. S / K. M / K. U / K. K / K. F / K. S / K. I	女	嵐、ウポポ、イヨンノッカ、ウエペケレ、カムイエテケ（蒙古斑）、童戯、墓地、雨乞い、アマッポの標示	
13	129	36.10.30	貫気別、荷負本村	K. T / K. K / K. K / K. S / K. Y / K. H / K. K	女	イヨンノッカ、シノッチャ、顔面神経痛で顔の曲がったとき、難産のとき、カムイユカラ、ウエペケレ	
13	153	36.11.1	振内、幌毛志、貫気別	K. K / K. T / H. E / N. T	女	日蝕、地震、大風、火事、大雨、雨乞い、霜の早く来そうなとき、ツル、天井に火のついたとき、夜泣き、イケマの中毒、目星、夜水を汲むとき、虹に追われたとき、イヨンノッカ、山鳩の歌、青鳩の歌、クイナのウパシクマ、ウポポ、団子つくり歌	
13	165	36.11.29	白糠	A. Y / H. S / F. K / K. S	女	日蝕、水死、流行病除け、ウポポ、トゥイタック、年老いた舟の話、バッタ踊り、棒踊り、クロガモのヤイユカラ（子どもの遊び）、子守唄	
13	179	36.11.30	白糠	A. Y / H. S	女	鴉の歌、キツツキの話、ウポポ、ポン　オイナ、ペナンペパナンペ、足寄でのチャランケ、夜泣きのときのイフンケ、氷を沖に去らす歌、船漕ぎ歌、ウポポ	
13	192	36.12.2	阿寒	S. S / A. K / S. K / Y. R	男女	冬部落、日蝕、地震、竜巻、大風、雨止め、大雪、雨乞い、夜水汲むとき、温泉に入るとき、夜泣き、目にごみが入ったとき、棘が刺さったとき、急病人や溺れかけた人が家に戻ったとき、目星、歯が抜けたとき、「姉と妹」（カラスのヤイユカラ）	pp.198-続きとして原稿用紙がホチキスで綴じてある
13	204	36.12.5	塘路	I. T / Y. H	女	ウポポ、日高のマイタケ採りの呪文、ヤイシャマ	pp.204-212　前項に続き、原稿用紙ホチキスとめ
14	1	36.1.16	東静内	S. H / S. F / A. Y / S. C	女	ウポポ、子守唄、ヤイシャマ、サケをおろす神	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
14	8	37.1.17	東静内	S. H / S. C / S. F	女	ウポポ、しゃがみ踊り、船漕ぎ遊びの歌、船おろしの歌、雀遊び、地震、日蝕	
14	15	37.1.18	静内町東別	M. Y / K. T / A. S / H. M / S. C / S. T	男女	熊を出すときの踊り歌、子守唄、病気の流行するときに歌わない歌（酒盛りのときの踊り歌）、トドの歌、早口、山鳩の歌、白鳥、雀遊び	
14	25	37.1.19	静内町浦和	O. F / T. M	女	ウポポ、熊送りのときの歌、白鳥、オキクルミの犬、チセノミ、難産のときの呪文、夜水汲むとき、ヤイシャマ、座り歌	
14	35	37.1.20	東静内	S. T	男	船漕ぎ歌、シリカップを呼ぶ言葉、子守唄、雨乞い、熊の子守唄、道路にある神、気の神、シャクシャイン、静内の地名、鯨伝説、月の言い方、遊び	
15	1	37.2.23	帯広	I. S	女	熊祭（火の神への祈り、歌、矢、弓、熊の血）	
15	2	37.3.11	平取町二風谷	K. M / K. T / K. M / K. K / N. I / K. C	男女	福寿草、山の神、地震の呪文、シリカップ漁のときの呪文、結婚する娘に父親・母親から言い聞かせる言葉、嫁もらう息子へ父親・母親の注意、結婚、結納、結婚期、妊娠、出産、穴熊への挨拶、タプカラ、名前、おしゃぶり、遊び、伝説、墓標、火の神への祈り、便所	
15	11	37.3.17	静内町豊畑サムタイ	S. E	男	部落、モシリパ、サマイクル、セタウシヌプリ、シャクシャイン、イナウシロシ、一番えらい神、コタンコロカムイ、冠、フクロウ、祭壇、コタンノミ、チノミシリ、熊祭、鹿、鮭、病気払い、蛇の祟り、スルク、イオロ、熊穴、矢、獲物の呪文、山槍、悪熊、熊の居所を知らせる神、川漁、月（旧暦）、福寿草、山鳥の歌、アイヌラックル、衣類、酒、粟稗、植物7種	
15	23	37.3.18	静内豊畑	S. E	男	肺病の祈り、シャクシャインの乱の原因、アイヌラックルのイヌの名と容器、疱瘡神、イム、家（付図）、チセノミ、カスオマンデ、津波、十勝人、動物婚縁（オオカミ、雄熊）、蛇の神、熊とオオカミと狐の伝説、入墨、舟おろし歌、育児（髪）、針、義経伝説、葬儀、妊婦の葬式、ポンクツ、求婚、結婚、離婚、出産、難産、乳不足、妊婦のタブー、東川の人の形、飲めない水	
15	41	37.3.19	静内	S. E	男	鳥、災難（地震、日蝕、雨乞い、雨止め、雷、大風、洪水、虹、星のウエペケレ、吹雪、風、竜巻、夕立、山火、寒さ、雪、パウチカムイ伝説、病気（眼病、歯痛、イケマ、中毒、発狂、病気除け、風邪、血止め）、裁判、鳥類	
15	55	37.4.16	静内町有瀬内、市街	N. H / O. K / S. T	女	子守唄、シノッチャ、馬方節、ウポポ、マッ　ユカラ（sowa so）、hon tori hon chikap、染退川のカムイコタン、カムイウポポ、エルム、他家の訪問	
15	66	37.4.17	静内町田原（to put kotan）	H. S / H. Y / D. R	男女	ウチャシクマ（ムクドリの由来）、イフンケ、疱瘡神、ウポポ	
15	76	37.4.18	静内農屋、ペラリ	S. S / O. S / S. H / F. T / F. M / K. T / M. F / I. M / F. K / I. F / H. K / W. W	男女	舟を山から下ろすとき、リムセウポポ	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
15	83	37.4.19	静内農屋	F. T / F. M / I. M / F. K	女？	オクルシナイの熊、熊に追われたとき、日蝕、鳥と貝の歌、遊び、河童、地震、大風、雨乞い、濁り水汲むとき、夜水汲むとき、山で木が折れて落ちてくるとき、道に迷ったとき、トキトカムイ、舟山から下ろすとき、トパットミ来たときのウポポ、カッコーとツツドリの話、フクロウ神とシャチの話、	
15	95	37.4.20	静内	F. F / S. Y / F. K / H. K / D. T	女？	鳥の言葉、ウポポ、仔熊の話、	
15	99	37.4.22	静内	Y. S	男	地名	
15	100	37.4.23	静内　真歌、中野	A. Y / M. T	女	ヤマゲラ、山鳩、イフンケカムイ、ペヌプ、ウポポ、ウチャシクマ	
15	110	37.4.13	虻田町	T. T	女	歌、踊り、虻田のトパットミ	
15	114	37.5.8	白老町	U. M / U. T / N. I / M. C / S. H / M. T	男女	ウポポ、イフンケ	
15	120？	37.5.9	白老町	U. M / N. I / K. A	女	ウポポ、イフンケ、リムセ、ヤイサマ	
15	127	37.5.10	幌別町	I. M / I. H	男女	酒こし歌、薪取りの歌、家材とるときの歌、マンボーとりの歌、シリカプとりの祈り、イフンケ、ウポポ、タプカラ、リムセ	
15	136	36.5.13	鵡川町春日	H. M / S. K / H. S	女	ウポポ、ユカラ、伝説、福寿草、カワウソ	
15	152	37.5.26	鵡川、平取町平賀	S. K / H. S	女	iyon ruika、子守唄、カムイユカラ	
15	172-174	37.7.24	静内町ペラリ			葬儀、手順、墓標	
16	1	37.6.25	新冠町万世（マウニソロ）	K. K / K. T / F. M / A. T / K. M / S. M / N. T / N. M	男女	ウポポ	
16	11		新冠町　泉（滑若name wakka）	K. Y / K. K / H. Y	男女	ウポポ	
16	14	37.6.27	新冠町　節婦	O. K / K. T / H. K / K. H / S. Y / M. N	女	ウポポ	
16	20	37.6.27	新冠町　伯津(ハクチ)	K. H / S. Y / M. N	女	ウポポ	
16	26	37.6.28	門別町庫富（山門別）	M. K / S. T / N. Y / C. C / M. N / N. M / M. H	女	ウポポ	
16	35	37.6.29	二風谷	N. T	女	カムイユカラ（サケ、雪、沼貝、白鳥）、ひばりの歌、雀のユカラ	
16	40	37.6.29	門別町厚賀	K. T / H. K / N. T / K. T / T. T / A. T / Y. H / U. K / K. S / K. I	男女	アイヌの生年月日、ウポポ、イヨンノッカ、ハラルキ、ユカラ	
16	46	37.7.14	網走(樺太)	N. U / H. K / N. C / N. A	女	トンコリ、着物（魚皮衣）、踊りの曲、レクッカラ、遊び、子守唄、トンコリの話	
16	53	37.7.15	西興部	N. U	女	蛇、遊戯、ケント老人帽子飛んで手で探る曲、議論の曲、踊りの曲、ムックリの曲、オイナ、トゥス	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
16	60	37.7.16	常呂（樺太西海岸）	F. H / Y. H / S. Y / O. Y / T. Y	女	ヘチリ、イフンケ、オイナ、船漕ぎ歌、トンコリ（図解）、薪切歌、熊送りの踊り	
16	70	37.7.17	常呂（樺太西海岸）	F. H / Y. H / S. Y / O. Y / T. Y	女	ムックリ（図解）、植物名、ムックリ演奏、船おろしうた、シノッチャ、トゥイタク、オイナ、トンコリ、太鼓（カチョ）	囲みでペナコリK. 某女夫　Y. F（Fの兄）
16	79	37.7.19	美幌町野崎	F. T / K. Y / K. K / T. K / T. F / K. H / F. H / K. N	女	ウポポ、ムックリ、熊送りのときの歌、酒つくり歌、弓踊り、	37.7.20 演者前日と同じ
16	89	37.7.19	美幌町野崎	F. T / K. Y / K. K / T. K / T. F / K. H / F. H / K. N	女	ウポポ、リムセ、オイナ、船おろし歌、ヤイシャマ	37.7.20 演者前日と同じ
17	1	37.8.7	荻伏　野深	F. H / I. T / H. H / U. I	男女	ウポポ、葬式の家を燃やす、龍神	
17	6	37.8.8	浦河姉茶	H. Y / U. I / F. H	女	ウポポ	
17	14	37.8.9	様似町岡田	H. A / O. Y	女	ヤイサマ、ウポポ、	
17	16	37.8.11	新冠	M. N / Y. H / S. Y	女	ヤイサマ、ウポポ、ユカラ	
17	21	37.8.25	三石町幌毛			葬式、国造り、人間つくり、怠け者、三ツ星の物語、カケス	
17	25		三石町福畑	K. T / H. T / H. K / M. T / N. K / H. H	男女	ウポポ、リムセ	
17	31	37.8.26	三石町富沢	M. T / D. Y / H. K / H. S / M. K / D. T / H. U / H. I	男女	ウポポ、リムセ、ユカラ、シノッチャ、ヤイサマ	
17	36	37.8.27	三石町福畑	K. T / H. T / H. K / D. Y / N. K / M. T	男女	ウポポ、トイタク、月の名、	
17	42	37.8.29	門別	H. A / Y. T / Y. A	女	ヘチリ、イフンケ、ムックナ	
17	45	37.9.1-2	常呂(樺太)	F. H	女	葬儀、ト。ス、鳥、雑草、アザラシ、タクサ（付図）	
17	48	37.9.21	白糠	N. T / H. Y / A. Y	女	ウポポ、ヤイユカラ	
17	56	37.9.22	白糠町和天別	A. Y / H. Y / N. T / Y. Y / M. K	女	音別川のウチャシクマ、厚内海岸の砂鯨伝説、ウポポ、遊び、ヤイユカラ、ヘチリ、葬儀、死体の包み方（付図）、ポンクツ、esaimun、tusu paunbe、着物の模様	
17	80	37.9.24	芽室太	K. Y / K. T	女	ウポポ、イフンケ	
17	89	37.9.25	伏古	M. N / F. K / S. T / A. M / Y. H / Y. S / T. K	男女	ウポポ、サコロペ、イフンケ、遊び、タプカラ	
17	98	37.9.26	帯広伏古	M. N / F. K / I. T	女	ウポポ、オイナ、ムックリ	
17	110		十勝・白人、音更	C. K / H. T / N. M / N. T / N. F	女	ウポポ、イフンケ、オイナ、ヤイサマ	
17	120	37.10.27	斜里(樺太)	N. I / Y. H / O. Y / N. F / F. T	女	イフンケ、ウポポ、金帯（付図）、病気の守り神（付図）	
17	124	37.10.28	斜里(樺太)	N. I / Y. H / O. Y / N. F / N. T	女	ヘチリ、ハウ、シノッチャ、イフンケ	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
17	127	37.10.30	屈斜路　屈斜路コタン	I. H / K. E / M. M / M. S	男女	ウポポ、雀遊び、葬式	
17	133	37.11.1	厚岸町糸魚沢	S. H / M. R / K. M / S. H	男	アイヌ神楽	山車？の図
17	135	37.11.3	浦幌町十勝太	S. T / N. S	男女	ウポポ、イフンケ、鶴送り	
17	138	37.11.8	二風谷	K. S	男	ポンクツ	
17	139	37.11.11	虻田	T. T		葬式、冠、死んだとき、かに、模様	
17	140	37.11.15-16	静内町農屋	W. W	男	ツス、葬式、祖先祭、狩猟、漁労、祭、仕事着、染料、食生活、作物、ニワトコ、住居、ポンクツ、蛇、婚礼、姦通、お産、火棚（付図）、部落、危急の知らせ、荷負、衣類、鷲塚家、疱瘡	
17	152-157	37.11.17	東静内	S. T	男	漁労、狩猟、服装、染色、祭、イケマ、墓標、住居（付図）、死人の履物、炉、酋長制、運搬、生涯の儀礼、葬式、病気払い	
18	1	37.11.19	浦河町野塚	U. I	男	狩猟、漁労、葬儀、病気除け祭、住居、山の神々、炉、酋長、運搬、誕生、結婚、トゥス、雷神	
18	9	37.11.20	三石	H. T？	男？	狩、漁撈、衣類、染色、酒、食事、住宅、運搬、葬儀、誕生、入墨、結婚、流行病、トゥス	
18	15	37.11.27	近文	M. T / I. I / O. Y / S. K / A. S / K. U / A. S / M. T	女？	ウポポ、イフンケ	
18	20	37.11.28	近文	T. S / N. T / A. S / I. I / M. T / S. K / M. T	女	リムセ、ウポポ、葬儀	
18	29	37.11.29	近文	O. (I.) K / N. T / M. K / S. T / K. E / M. S / U. N		ウポポ、リムセ	
18	38	37.12.1	新十津川	S. T / I. M / I. K / S. T	男女	ウポポ、カムイユカラ（女鶴の自伝）、シノッチャ、イフンケ、葬儀、墓標（図解）、植物、守り神、刀踊、	
18	52	37.11.27	近文			葬儀、墓標	
18	54	37.12.17	千歳	O. C / O. F / O. N / S. Y / I. N / K. H	女	ウポポ、ホリッパ、イヨンノッカ、踊り比べ	
18	58	37.12.18	千歳	O. C / O. F / O. N / S. Y / I. N / K. H	女	ウポポ、葬儀、墓標、鉢巻	
18	63	38.1.28	芽室	K. T / K. U / N. T	男女	熊狩り、鹿狩り、鱒漁、鮭漁、衣類、染色、織物、食事、家屋、運搬、出産、入墨、葬儀、法事（シンヌラッパ）、木の神	
18	68	38.1.31	白糠	N. ？	女	鹿狩、熊狩、鱒漁、服装、染色、織物、道具、祭壇、住居、出産、運搬、葬儀、法事、ツツドリの歌、山鳩の歌	
18	74	38.2.1	白糠	S. M	女	墓標、狩、染色、火の神、出産、名付け、雪、葬儀、住宅、結婚、交易、オオカミ、ウポポ、シマフクロウのオイナ、鶴の舞	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
18	79	38.2.4	阿寒	S. K / T. T	男女	鹿狩、熊狩、テン狩、漁、衣類、染色、鹿肉、草、食器、家屋（図解）、荷縄、丸木船、交易品、労賃、出産、子どもの名、葬儀、春祭、秋祭、猟区、マリモ	
18	87	38.2.27	二風谷	K. S	男	アマッポ、ウサギ罠（図解）、山杖、カケスと鹿、鹿とる木、家を建てるときの計り方、	
18	89	38.3.23	虻田	T. T	女	遭難死体、模様、亀、埋葬、アフンルパルの伝説、先祖、死体処理、ポンクツ、住居（図解）	
18	93	38.4.11	白老	M. T	男	神、金銀、狩、イナウ、葬儀（死体の包み方、墓標、図解）、病気平癒幣	
18	98	38.4.12	幌別	I. M?	男	入墨、ウパシクマ（鱒の子ども）、太鼓、川漁	
18	100	38.4.15	二風谷			葬儀（墓標図解）	
18	101	38.4.29	二風谷			植物	
18	102	38.4.25	白老	S. H	男	オキクルミ	
18	103	不明	登別			アイヌ家作り（平取町二風谷）萱野茂氏指導・図解、出産、熊、救荒食料、洪水、病気	熊牧場内　ユーカラの里建設と思われる
18	106	38.6.14	近文			ポンクツ、雨止め、風止め、入墨、悪狐の神、トイタキ（ポンクツの話）、悪いオオカミ	
18	113	38.7.20	常呂（樺太）	Y. H	女	太鼓、日蝕、イム、蛇、男の懐帯、魔除け、シャチ、トナカイ、祭壇、祭、月（1～12）、鳥、熊、葬儀、着物	
18	120	38.9.20	浦河	M. F / M. N / M. T	女	リムセ、ウポポ	
18	122	38.9.21	鵡川	S. K	女	海難、人間創成、ホリッパ、系図	
18	125	38.9.21	鵡川	A. K	男	シシャモ祭、ウパシクマ（シシャモ）、雷、タブー、部落	
18	128	38.9.22	鵡川	S. K	女	耕作、祭壇、衣類、食生活、家、出産、ポンクツ、入墨、結婚、病気、風、狂気、災害、葬儀、制裁	
18	143	38.10.20	鵡川			鵡川シシャモ祭、祭壇（図解）	
18	145	38.10	虻田	T. T	女	月、着物の神、夢	
18	147	38.10.30	鵡川			川浄めの儀式、ヌサ（図解）	
18	149	38.11.16-1	虻田	T. T	女	子守唄、リムセ、鯨祭	
18	151-153	39.2.16-20	二風谷			火棚、育児、炉鉤	
19	1	40.9.5	虻田	T. T	女	子ども、先祖祭、家、トゥス、雷神	
19	3	40.9.8	千歳	K. K	男	住民、病気よけ、トゥス、数、沼、窓、墓、父母呼称	
19	6	40.9.8	富川	N. M	男	イナウとはどういうものか返事、子どもの呼び名、病気払い、気狂い治し、イナウ、家の神、ブドウ皮、コクワの蔓、祈りのときの川の名、人間の善悪、守り神、難産、幽霊のアマッポ、津波、痘瘡	
19	12	40.9.29	千歳	T. M	男	アイヌテケカラカムイ、ウカキクイナウ、チクベニカムイ、カムイカケマッ、男の子の守り神、気狂い、トゥス、死、千歳の先祖、神、イナウ、火の神と家の神、鹿送り	

ノート	ページ	調査日	調査地	被調査者（イニシャル・性別）		調査内容	備考
19	17	40.10.10		S. T	男	ノヤチャウンノカ（ヨモギの神・図解）	
19	18	40.10.11	二風谷	K. S	男	ノヤエモシ（図解）、家の神	
19	19	不明	富川	N. M	男	チクベニカムイを作るときの祈り、祭壇の神への祈り、エンジュ神招魂、火の神への報告	
19	27	40.11.13	富川	N. M	男	貞操帯、死んだ女の行く先、幽霊、墓標、火葬、パスイとイナウ、気狂い、肺病、呪われたとき、船の墓標、祭壇、子さずけ呪術、先祖祭、葬儀、守り神、着物、弁当入れ、枕	
19	34	41.4.7	鶴居村オンネナイ	T. H	男	植物利用（まゆみ、さんなし）、葬儀、熊の網	
19	35	41.10	虻田	T. T		天地創造伝説・萱野茂訳	
19	43	42.2.17	近文	S. K	女	地形、酒、墓、供養、トパットミ、ユカラ（ポイヤウンペの話）、トド、トゥス、ウポポ、編物、かんぼく、アタネ、三葉、育児、尻拭き、花ござ（図解）	
19	47	42.7.26	富川	H. S	女	毛の多い人と少ない人、犬送り、星	
19	48	42.7.27	白老	M. T	男	死人に持たせるラウンクツ、変死の墓標、熊送りのみやげ、家の守り神（図解）、ウバユリ、オプクワ、頭たたき棒	
19	50	42.8.4	千歳	T. M？	男	トパットミ、地名、アマッポ	
19	51	45.1.25	鶴居	Y. K	男	マキリもっていない者、熊とって帰れないとき、ヌプリとシリ、釧路、雪裡移住	
19	54					国定国語教科書、尋常小学校子供読本など写し。「蝦夷征伐」資料（原稿用紙はさみこみ）	
19	67-69	45.3.3		K. S	男	狩猟、スルク、模様、守り神、矢（図解）、不能者	
20D		26.5.22	標津			含む標津での聞き取りのまとめ	更科 1970：178-181
20D		26.5.23	標津？			T？というお婆さんのこと、M老人のこと	同：181-183
20D		26.6.10	千歳神社			千歳のインフォーマントについて	同：183-187
20D		26.6.11-13	千歳			アイヌ語で寝言を言った。町にはアメリカ兵があふれている	同：187-194
20D		26.7.26	様似町岡田部落			天候、インフォーマントのフチのこと（知里が通訳してくれた）	同：194-197
20D		26.7.26	アポイ山荘から岡田部落へ			蚤、インフォーマント、河野広道作の詩？	同上
20D		26.7.28	様似から東静内			インフォーマントを訪ねて	同：202-205
20D		26.7.29	東静内			S. Oからの話	同：205-207
20D		26.8.25	高島			老婆たち	同：207-209
20D		26.8.26	高島～本別			蚤と永田のはぎしり	同：209-211
20D		26.8.27	本別～足寄			チエトイコタン	同：211-214
20D		26.8.28	足寄～陸別往復			地名を聞きながら行く	同：214-215
20D		26.8.29	足寄～雌阿寒温泉			バスに乗り地名を聞きながら	同：215-217（更科 1970）の月日が違う
20D		26.9.22	静内町農屋			W. Wの話	
20D		26.9.23	新冠町泊津			村議のF. Sのところへ	以下３分の２は空白